

八千代市入札契約適正化委員会  
令和7年度第2回定例会議 議事概要

日 時 令和8年1月28日（水） 午後2時から  
場 所 八千代市役所 旧館4階第1委員会室

出席委員 高橋委員長，菊川委員，板倉委員  
事務局職員 財務部次長，契約課長，契約課職員3名，  
経営企画課長，経営企画課職員2名  
担当課職員 事業担当課職員12名

議題

1 入札及び契約手続の運用状況の報告について

事務局から令和7年4月1日から令和7年9月30日までの間の入札及び契約手続の運用状況等について報告があった。

【主な質問・意見等】

- 3号炉再燃焼室耐火物補修工事について，工期が令和7年9月30日から令和8年3月19日に変更しているが，変更理由は？

本工事は，7月中旬から下旬の期間に3号炉の焼却炉を計画的に停止し，現地作業をする予定であったが，6月下旬から7月中旬にかけて1号炉，2号炉の焼却炉がシステム不具合により，一時的に停止する期間が発生した。これにより，ごみの処理量が計画よりも下回り，停止予定であった3号炉を稼働せざるを得ない状況が生じたことから，工事期間の変更をした。

- 契約一覧をみると，一般競争入札の案件で業者数が1者となっている案件がいくつかあるが，その理由は？

一般競争入札は，入札の参加を希望する業者が公告に定める期限までに参加申請書を提出する。参加申請が1者だった案件は業者数が1者となっている。

2 抽出案件の調査審議について

財務部契約課及び上下水道局経営企画課において令和7年4月1日から令和7年9月30日までの間に契約した案件の中から合計6件を抽出し，審議を行った。

(1) 抽出事案1 「八千代市新庁舎建設（建築）工事」

【主な質問・意見等】

- 本案件は総合評価方式により価格と技術の評価をしているが，落札業者の

価格点が満点となっている理由は？

価格の配点は最も低い価格で入札した業者が満点となり、価格が上がるにつれて点数が下がっていくという設定になっている。入札に参加した業者が1者のため、その業者が満点となった。

- 仮に複数者が応札した場合に価格が低い業者が失格に値するような価格で入札した場合は、その業者が満点になるのか。

失格判定基準価格に当てはまる場合には、評価の対象とならない。あくまでも有効な価格の中で判断をする。

- 1者が辞退しているが、辞退理由は？

技術者の確保が困難という理由で辞退している。

- 資料の推定資格業者の一覧に記載されている48者が今回の入札参加資格要件を満たす業者ということか？

あくまでも推定だが、一覧に記載されている業者は参加資格要件を満たす業者であり、公告をした結果、参加申請があったのが2者であった。

- 参加者からVE提案があったのか、提案があった場合、請負金額に影響はあったのか？

参加者からVE提案が採用されれば、予定価格内での応札が可能といった趣旨で、VE提案があり、内容を精査したところ、コストダウンの提案が含まれていたものの、概ね採用できるものと判断した。採用された提案内容が入札金額に反映されたと考えている。

- 参加者から技術提案があったと思うが、参加業者が1者のため、技術提案に競争性はあったのか？

総合評価における技術提案は、参加する業者は本工事を施工できる能力を有することを前提に、配点を設定した。参加業者が1者ではあったものの、事業者選定委員会で外部の学識経験者を含め審議され、高い評価がされていると認識している。

## (2) 抽出事案2「道の駅やちよ・八千代ふるさとステーション拡張等

### (建築) 工事」

#### 【主な質問・意見等】

- 第1回の入札から第2回の入札において、辞退や未入札により入札業者が5者から2者に減少しているが、予定価格が低いということは考えられるか。また、この予定価格は業者からの見積をもとに設定しているのか。

予定価格については、業者からの見積ではなく、設計に基づき金額を算出しており、設計にあたっては、最新の県単価や実勢価格や履行期間等を考慮して決定していることから、この価格が妥当であると判断している。

- 不落随意契約に移行するにあたって、仕様書の見直しや価格の見直し等は行ったのか。

第2回の入札を実施した結果、予定価格に近い価格での入札があったことから、不落随意契約に移行した。価格等の条件は変更できないため、同じ条件のもと実施した。

### (3) 抽出事案3「有価物等資源化中間処理業務委託」

#### 【主な質問・意見等】

- 指名競争入札で8者指名し、1者しか入札に参加していない。実績をもとに業者を選定しているが、実績としている案件の契約金額が異なり、実績としている自治体も広範囲にわたるため、今回、指名した業者は適切だったと言えるのか？また、辞退した業者についてどのように考えているか？

本案件は平成30年度に同様の契約をしており、その際は今回と同様に指名競争入札により8者指名し、3者から応札があったことから、今回も指名競争による入札を実施した。辞退した業者の主な辞退理由は人員確保が困難であることや見積りに時間を要するといった理由であった。入札結果を踏まえ、今後は指名競争入札ではなく、一般競争入札により広く参加を募るなど入札方法を検討する必要があると考えている。

- 契約期間が令和8年から令和15年の7年間と長期の契約であるが、このような長期間の契約というのは一般的なのか？

中間処理の標準的な減価償却は7年から8年とされているため、7年が適当であると判断した。

- 平成30年度に同様の委託業務を契約しているが、今回の契約金額は前回に比べて約2倍になっているが契約内容に違いはあるのか？

契約内容は特に変わりはないが、費用が増大した理由として処理量の増加に伴う人員増、近年の労務単価の上昇に伴う人件費の上昇、設備費の上昇等により、金額が上がったものと考えている。

- 今回の予定価格はどのような経緯で決まったのか？

落札業者からの事前の参考見積りによって金額を決定した。

- 平成30年度に比べて契約金額が増大した理由はコスト上昇だけと言えるのか。前回の入札金額と比較する等予定価格が適正であることを判断する必要があったのではないか。

前回の入札は7年前であったことから、今回の予定価格と比較することは考えていなかった。価格の上昇の理由として、委託業者がフォークリフトを用意するよう仕様を変更していることも理由に考えられる。

- 業者からの見積価格をそのまま予定価格として入札を実施し、1者からし

か入札がないというのは問題があるのではないか。今後はやり方を検討した方がいいのではないか。

次回の入札については、今回のご意見を参考に検討したい。

○ 業者の見積価格が適正かどうかどのように判断しているのか？

価格が適正であるかは、作業員の人件費の部分については、国土交通省の労働単価等によって確認している。

○ 他市町村を参考にはしないのか？

各市によって状況が異なるため、一概に比較検討はできないものと考えている。

○ 平成30年度の契約案件に比べ、ごみの処理量が大幅に変わったのか？

缶やペットボトルの処理量は、平成30年度は今回の2/3程度の量であった。

(4) 抽出事案4 「災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅰ－B・1500L水槽付）購入」

【主な質問・意見等】

○ 予定価格はどのようにして決定したのか？

消防車はポンプや資機材、規格が国から法令で示されており、規格や仕様を踏まえ過去の実績があった（株）モリタから見積をとった。

○ 複数者から見積をとった上で、予定価格を決定するべきではなかったのか？

今回、見積業者が1者であることは、業者は知り得ないことではあるが、公平性の観点からも複数者から見積を取るべきであったと考えている。

○ 近年の契約実績を見ると（株）モリタと長野ポンプ（株）の2者と継続して契約をしているようだが、公平性や透明性を高めるためにも実績がある業者以外から見積をとる必要があるのではないか。【意見】

(5) 抽出事案5 米本浄水場発電機改良工事

【主な質問・意見等】

○ 一般競争入札ではあるが、エンジンの換装と発電機の整備等ということで入札参加資格を実績があったところに限定する必要があったのか。過去の実績にこだわらなくとも、もっと多くの入札する業者があったのではないか。

浄水場という重要なインフラであるため、やはり実績があるところを優先したいというのが理由の一つである。

- 結果的に1者入札になってしまっているのですが、健全な競争を促進するという観点から、今後は入札参加資格を緩和されても良いのではないかとご意見を参考にさせていただきたい。
- 辞退した業者の辞退理由は、  
資材調達が困難なため、下請け業者の確保が困難であるため、積算の結果採算が合わないため、という理由で各者辞退している。また、辞退理由について一部の業者に問い合わせたところ、実は、商社を介して見積徴取しようとしたが期限に合わなかったということもあったようである。
- 資金調達及び下請け業者の確保の困難性は入札する前から分かっているような気もするが、1者応札だと公平性がないため入札に参加してもらうよう事前に調整するようなやり取りはあったのか。  
事前に調整をしたということは一切ない。
- できる限り多くの業者が参加していただきたいし、見積りが間に合わないということであれば、可能なら少し期間を延長する等、柔軟な対応をしていただければと思う。【意見】

#### (6) 抽出事案6 人孔鉄蓋修繕（開削工法）

##### 【主な質問・意見等】

- 八千代市内の業者に限定して資格要件を設定しているが。  
市内業者育成、それから市内業者の活性化という意味で市内業者から設定している。

### 3 その他

次回開催日については、令和8年7月から8月頃で調整する。

抽出案件については、財務部契約課4件、上下水道局経営企画課2件の合計6件とする。抽出委員は板倉委員にお願いする。

以上のとおり決定した。